

参考：消防機関が傷病者の状況を確認し伝達するためのルール(東京都の事例)

外傷観察カード <東京消防庁>

総合判断 A B C

外見	状態	歩行可能・不能(仰・側・腹・坐・その他)			虚脱							
	顔貌	顔色	正常	黄・紅潮	土気色	蒼白・チアノーゼ						
		表情	正常	興奮・不安・苦悶	無表情・うつろ							
		嘔吐・失禁	なし	嘔気・嘔吐・吐血・喀血	失禁(大・小)							
		皮膚体温等	正常	乾燥・発熱・湿潤・発汗・浮腫	冷汗	冷感						
眼	眼瞼結膜	正常										
	角膜床					蒼白・チアノーゼ						
バイ	意識	清明	1	2	3	10	20	30	100	200	300	
		A自発性喪失・I尿管失禁・R不穏状態 意識障害進行										
イ	呼吸	性状	正常	浅・深・喘鳴・異常(呼吸)				胸部挙上不十分				感ぜず
		数() 回/分	成人	16~19	20~29	10~15	10未満または30以上					
タ	脈拍	乳幼児	24~30	31~34	15~23	15未満または35以上						
		呼吸音	正常	左右差(なし・あり)		乾性ラ音・湿性ラ音		狭窄音				
ル	緊張度	正常	強	弱	左右差(なし・あり)		微弱					
		リズム	整	不整()				経頭触れず				
サ	数() 回/分	成人	50~100	101~119	50未満または120以上							
		乳幼児	80~120	121~149	80未満または150以上							
イ	測定値	/		/		左右差(なし・あり)						
		収縮期 血圧	140~90 mmHg	141~199		90未満		200以上		測定不能		
ン	SpO ₂	93~97%		90~92%		90%未満()%						
		瞳孔	大きさ	正常	縮小(両側)・不同(左>・右>)				散大			
		反射	正常	にぶい				なし				
		偏視	なし	右・左・上・下・右斜め・左斜め・共同偏視								

左()

右()

1 ●

2 ●

3 ●

4 ●

5 ●

6 ●

7 ●

8 ●

※1 赤枠の項目が1つでもあれば、重症と判断する
 ※2 緑色の項目は総合的に重症度を判断する

主訴	痙攣等	なし	ふるえ・弛緩・痙攣 { 局所・全身 } { 間代・強直 }	
	麻痺	なし	言語・知覚・運動 { 上肢・下肢・片(左・右) } { 上半身・下半身・全麻痺 } 除脳硬直・除皮質硬直	
局所	部位	頭・顔・眼・鼻・口・耳・頸・肩・胸・腹・腰・背・殿・陰		
		前額	前胸部	上腹部
所	創傷等	なし	擦過傷(創)・打撲・挫傷(創) 刺創・杖創 咬創・切創・割創・挫減創 切断・線断	
		なし	頭・顔・胸・腹・鼠蹊部への穿通性外傷、フレイルチェスト 多指切断、四肢の切断、腱緊緊張、腹膜刺激症状、尿管損傷 腹部膨隆、内臓露出、頸部又は胸部の皮下気腫、血気胸疑 外頸静脈の著しい怒張、デグロピング損傷 15%以上の熱傷を伴う外傷、顔面熱傷・気道熱傷	
状	骨折	なし	捻挫・腫脹・脱臼・変形・非開放 陥没・開放・動揺・撥音 鎖骨・肋骨 頸損・脊損(胸・腰)・胸壁運動の左右差 胸壁動揺・骨盤・両側大腿骨・顔面骨	
		既往症	なし	心疾・脳血・高血・消化・泌尿・その他

受傷機転(重症)	頸部刺創 胸腹部刺創・鈍創 高所墜落(約5m以上の場合) 機械器具に巻き込まれた 頭、頸、体幹部が挟まれた 車から放り出された。 同乗者の死亡 救出に、20分以上要した	車の横転 車が高度に損傷している 車にひかれた 5m以上跳ね飛ばされた 受傷機転(転倒したバイクと運転者の距離、大、自動車は歩行者、自転車に衝突等)から重症と疑える場合
----------	---	--

薬剤使用歴：
最終飲食時刻：

2006